



学校教育目標

勤勉で、正直に生き、感謝の心を持った、心豊かで健康な児童を育成する。

やさしく

かしこく

たくましく

「かけがえのない自分」を大切に

過日の5年生の授業参観時に「いのちの授業」を実施しました。その中で、助産師さんが最後に子どもたちに言っていたメッセージがとても思いのこもった言葉でした。以前にも命を大切にする言葉として印象に残っている素敵な言葉です。

「生きているだけで100点 満点」

まずは、自分の命を大切にしてほしい。生きていることが親、家族や周りの人の幸せや笑顔につながるということを知ってほしいということだと思います。

親から子へ、子から孫へと昔から伝えられてきた、いのちのリレーの中で、自分は今を生きている。この事実は、私たち一人ひとりが「かけがえのない存在」であることを示してくれているのだと思います。そして、改めて考えてみると、私たちが今ここに生きていること自体が奇跡的であり、「有り難いこと」だと思います。そうした自覚を持ってこそ、私たちの心に「自分を大切にしつつ人生を生き抜くための力」が生まれてくるのではないのでしょうか。今の子どもたちを見ていると、自己肯定感が低い子が見られます。「自分は、勉強がで

きない」「どうせやってもできない」「わからない」「面倒くさい」などの言葉もよく聞かれます。学校では、できたことを認めて励まして、成長させていきたいと考えています。もちろん、指導や注意もしますが、基本は本人の良さを認め、自己肯定感を伸ばしてあげたいと思っています。ご家庭でも、家族の一員として生きていることの素晴らしさを認めてあげて、良さを見つけて伸ばしてあげてください。そして、「かけがえのない自分」を大切にしつつ、草木が大地にしっかり根を下ろして、大きく強く育っていくように「生き抜くための力」を培ってほしいと願っています。



「姿勢学習のすすめ」

強戸小では、2学期から保健委員会の活動を中心に、「姿勢学習」に取り組んでいます。11月から少しずつ「正しい姿勢」について考える機会を設けて、全校で良い姿勢、正しい姿勢づくりをしてきました。

まずは普段の姿勢に関するアンケートを取りました。アンケートで割合が多かったのは、「授業中に背中が丸くなる猫背」でした。家庭では、「うつ伏せでスマホやゲームを見る」でした。そして、12月には「足ふみ姿勢チェック」を行いました。これは、目をつむった状態でその場で30秒間足ふみをし、最初の位置からどのように移動したかで身体のゆがみをチェックするものです。非常に多くの児童が前に移動していました。前に移動しているということは、身体



の重心が中心より前になっているということです。アンケートからも分かるように「猫背」などの良くない姿勢の影響が考えられます。次に、「正しい姿勢」は何のために大切なのか。悪い姿勢はどうして良くないのか。身体にどんな悪影響が出てくるのかを考えさせました。悪い姿勢の影響は、授業中「肺が押しつぶされて、呼吸が浅くなる」、「疲れやすくなってイライラする」「机との距離が近づき、視力が低下する」



などなどたくさんの悪影響があるようです。

今後も「正しい姿勢」を意識させて、健康にも気を付けさせていきたいと考えています。ご家庭でも、是非普段の学習の時、食事の時の姿勢についても声かけをしていただけると幸いです。

第2回学校保健委員会

1/29(水)の13:30~14:30に第2回の学校保健委員会を開催しました。学校医3名の先生方をお迎えして、保健委員会の児童の発表と保健主事、養護教諭の説明を中心に協議を行いました。保護者の方にもお越しいただきました。

内容は、上記に示したように2学期から保健委員会の活動を中心に取り組んできた『姿勢学習のすすめ』についてでした。児童アンケートや足ふみチェック結果についての考察や保健委員会作成の啓発動画を視聴して協議を行いました。

保護者の方からは、自分目線の感想や今後につながるご意見などが出されました。学校医の先生方からも様々な感想やご助言もいただき、有意義な時間となりました。

